

静岡市立静岡病院内科専門医研修プログラム (静岡市立静岡病院)

1 はじめに

本プログラムは十分な症例数を持った病院群で成り立っており、専門医取得が容易になる質の高い研修を行えます。

プログラム終了時には、内科医としての自信を持つことができ、さらに診療能力を磨き上げていける土台が築かれていると考えています。ぜひ一緒に静岡で働きましょう。



プログラム統括責任者 静岡市立静岡病院 副病院長 小野寺 知哉

2 目的

本プログラムにおいては、明治2年開設で150年近くの歴史を有する静岡市立静岡病院を基幹施設として、各連携施設・特別連携施設とともに、各内科領域の基本的臨床能力を幅広く身に付け、地域の実情に合わせた実践的な医療も行える内科専門医の育成を目指します。また、Subspecialistを目指す者については、この専門研修期間内に subspeciality 領域での研修も十分行えるように研修計画を組み立て、各領域での専門医の取得がスムーズに行えるようにします。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

静岡市立静岡病院

(2) 専門研修連携施設

静岡県立総合病院

静岡済生会総合病院

静岡市立清水病院

静岡赤十字病院

静岡厚生病院

静岡県立静岡がんセンター

京都大学医学部附属病院

共立蒲原総合病院（特別連携施設）

4 専攻医受入数

8名

5 研修期間

専門研修（専攻医）1年目は、まず基幹施設である静岡市立静岡病院内科で専門研修を行います。この間にできるだけ多くの領域の症例を経験します。専攻医1年目終了前

に専攻医の希望・将来像，研修達成度およびメディカルスタッフによる 360 度評価（内科専門研修評価）などを基に，専門研修（専攻医）2年目の研修施設を調整し決定します。

専門研修（専攻医）2年目は、連携施設、特別連携施設において1年間の研修（神経内科領域の症例はこの間に経験します）を行います。2か所の施設において6か月間ずつ研修を行うことを基本とします。また、2年目終了時には病歴提出に必要な経験が完了できるように、連携施設、特別連携施設での研修期間を6か月間とし、専攻2年目の秋に基幹施設である静岡市立静岡病院に戻り、2年目の後半6か月間に、未研修の領域の症例を中心に経験する形も可能とします。さらに、既に各領域の症例を十分に経験できている場合には、連携施設において神経内科2か月間+subspeciality領域4か月間、基幹施設である静岡市立静岡病院に戻り subspeciality 領域6か月間の、最大で10ヶ月間の subspeciality 領域研修を2年目に行うことも可能とします。

専門研修（専攻医）3年目は、基幹施設である静岡市立静岡病院で行います。総合内科を目指す者は2か月間ずつ6領域をローテートします。また救急科のローテートも可能とします。Subspecialist を目指す者は subspeciality 領域での研修を基本としますが、経験が不十分な領域がある場合や希望に応じて他の subspeciality 領域の研修を含めることも可能です。

Subspeciality 領域を重点的に研修することを目指すものは、1年目の研修及び2年目の連携施設での神経内科研修において各領域の症例を十分に経験できていれば、1年目の2か月間、2年目の10ヶ月間、3年目の12か月間と、専門研修期間中に最大で2年間の subspeciality 研修を行うことが可能です。

6 研修計画（例）

研修スケジュールの例3(subspeciality重点型)



1年目の2か月間、2年目の10か月間、3年目の12か月間と、最大で2年間の subspeciality 研修が可能。

※1年目からサブスペシャリティに重点を置くことも可能です。

7 問い合わせ先

静岡市立静岡病院 教育研修管理センター

・電話 054-253-3125

・E-mail kouki-kensyu@shizuokahospital.jp